

令和4年度是川縄文館 考古学講座 前期

縄文土器 器から読み解く くらしと技

第1回
5/14[±]

「土器の胎土分析と混和材等について」

河西 学 氏（帝京大学文化財研究所 研究員）

第2回
6/18[±]

「縄文土器は如何にして作られたのか？
-その技術の探求-」

戸村 正己 氏

（千葉市埋蔵文化財調査センター 縄文土器製作技術研究員）

第3回
7/9[±]

「土器に残された煮炊きの痕跡
-土器残存脂質分析から考える古代の調理-」

宮田 佳樹 氏（東京大学総合研究博物館 研究部 特任研究員）

会場：是川縄文館 1階体験交流室

時間：14時～16時 聴講無料・要申込（定員50名）

※定員に達し次第、受付を終了しますのでお早めにお申し込みください。

※新型コロナウイルス感染症の流行状況により、講座の中止や延期、講演方法の変更をする場合がございます。

※ご来館の際はマスクの着用をお願いいたします。

お申込み・お問い合わせは

八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館

〒031-0023 青森県八戸市大字是川字横山1

<https://www.korekawa.jomon.jp/>

☎0178-38-9511

